

魚の城下町

みんなが主役のまち

平成31年 羅臼町成人式



前通 空ろで外を歩か
七口平や丸流不可能に
講師 ビリヤルの本人 小林

新たな門出を迎え～平成31年 羅臼町成人式～



恭賀新年

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、おだやかな中にも希望に満ちた輝かしい新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

初めて町政を担い4年が経過しようとしております。いろいろな方々より、ねぎらいや励ましなど叱咤激励をいただきながら、町民の「幸福」そして「未来創造」を実践するべく全力を尽くしてまいりました。町民の皆様をはじめ関係各位、そして羅臼を応援して下さる全国の皆様に深いご理解とご支援ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、基幹産業であります水産業は、主要魚種漁獲の減少から鮮魚の年間水揚高が落ち込んでおり、沿岸における漁業資源については資源管理が必要なものや付加価値対策に早急に取り組まなければならないものなど、依然として厳しい漁業環境が続いている状況にあります。

また、日露共同経済活動については、四島周辺海域を利用した海産物の共同増養殖事業に向け話し合われており、今後、新たな事業展開が期待されるところでありますが、依然、ロシアトロール船による操業が北方四島周辺で行われており、漁業資源の減少や漁具への被害など影響が大きく、極めて憂慮すべき事態が続いています。

領土問題という難しい問題を抱えた中ではありますが、基幹産業である水産資源の持続を確立させることや安定した漁場を確保するためにも、根室海峡でのロシアトロール船操業を引き続き重要な課題として位置づけ、操業停止に向け、漁業協同組合をはじめとする産業関係団体、町議会が一致団結して、各関係機関に対し粘り強く要請活動を続けてまいります。

このように漁業を取り巻く情勢は、一段と厳しさを増していますが、水産業を中軸とする町経済にとってその基盤の強化と安定維持が重要でありますので、町としても漁業協同組合と連携し、新たな対策を講じなければならぬと考えております。

その中で、町内の農林水産物や加工品等を返礼品として活用している、ふるさと納税につきましても、全国各地から応援していただいた方々に対して地元特産品を知ってい



ただく機会になるため、地域の活性化に繋がることを期待しております。

近年の羅臼昆布の消費に対しましては、町としても、漁業協同組合や観光協会など関係団体と連携し、物販事業など、消費拡大に向けたPRを展開しております。

一方、観光業では、各関係団体と連携し、学習旅行やにっぽん丸などの受入れを実施してきました。また、観光船関係者のご尽力により、ホエルウオツチングやボードウオツチングによる観光船利用者が年々増加し、多数の方々に乗船していただき、町内の飲食店や周辺宿泊施設などを含め活気づいたと思っております。

近年、北海道への外国人観光客が増加しており、当町においても増加傾向にありますので今後も漁業協同組合、観光協会、商工会など関係団体と連携し観光客の誘致に向けた取り組みも進めてまいります。

この他に、昨年は、自動車のご当地ナンバープレート「知床ナンバー」のデザインも決定致しました。導入は、2020年となりますが、知床ナンバーを通じ地域の活性化に向け、導入自治体や関係団体と連携した取り組みを進めていきたいと考えております。教育分野では、昨年4月に「知床未来中学校」が開校し、教育環境の再編をすることにより、より良い教育環境が整いました。これから、知床未来中学校に通う生徒の皆さんには、新しい時代を切り開き、夢をもって世界に羽ばたいてほしいと願っております。

本年は新たな年号が始まる年でもあります。町民の皆様、そして、羅臼町を愛し応援して下さいる皆様にとりまして幸多き年となりますよう、心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

平成三十一年元旦

羅臼町長 湊屋 総

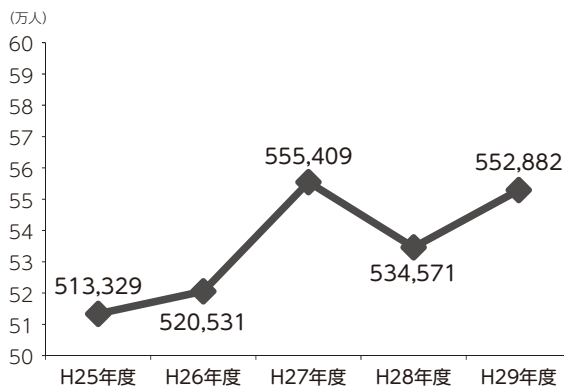
増える外国人観光客

オジロワシやオオワシも飛来し、そろそろ冬の観光シーズンが到来します。皆さんは、冬になると「外国人観光客が増えたな」と感じることはないでしょうか。「いや、夏もいるよ」「日本人だと思ったら中国人だった」など、季節を問わず外国人を身近に感じている方もいらっしゃると思います。果たして羅臼町に外国人はどのくらい訪れているのでしょうか。また、なぜ外国人は羅臼町にやってくるのでしょうか。

羅臼町を訪れる外国人観光客数

平成29年度に羅臼町を訪れた全観光客入込数は552,882人、882人を数えました。(図1)

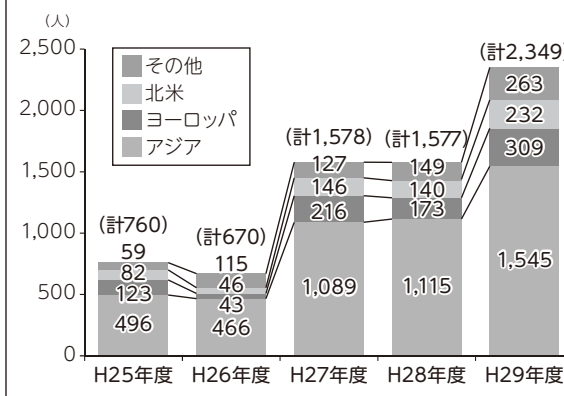
図1 羅臼町観光客入込数推移 (H25～H29年度)



そのうち外国人観光客(以下、

訪日客)は2,349人(宿泊者数のみのカウント)で、全体の1%にも満たない数値ですが、平成25年度と比較すると約3倍となっています。(図2)

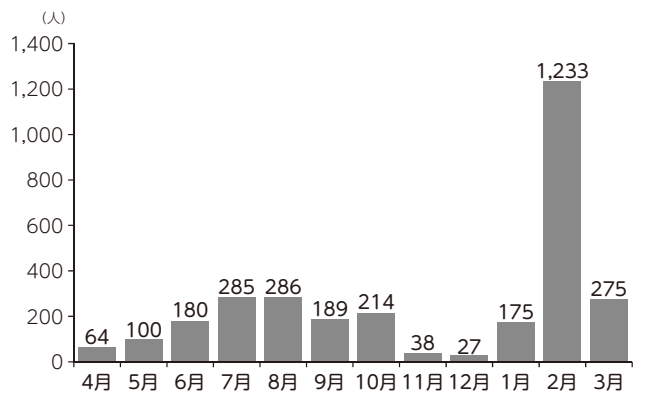
図2 羅臼町の外国人宿泊者数 (H25～H29年度)



また、平成29年度を月別に見ると5月、10月、1月、3月が見

100人を超える入込数となり、特に2月の入込が多く、冬に訪日客が多い印象を受けるのは、間違いではありません。(図3)

図3 羅臼町の外国人宿泊者数 (H29年度月別)



目的は?

羅臼町の自然(観光)資源は我々にとって普通の光景ですが、羅臼町を訪れる観光客は『私達の普通』を体感しにくることが目的です。違う角度から見ると、『ここに来なければ体感することができない』から来ている』と言っています。

(一社)知床羅臼町観光協会に寄せられた訪日客の声でも「シャチはアラスカまで行かないと見られない」と思っていたのに、ここで

こんなに近くで見ることができるとは!」「ワジラはよその地域では荒波を越えなければ見ることができないのに、こんな静かな海で見られるんですね!」「流氷を初めて見ました。流氷とワシ、日の出と一緒に撮影できるのは、世界でもここ位では?」などの声が寄せられているとのこと。(図4)



図4 流氷とオジロワシ、オオワシを撮影する訪日客

産業としての観光

羅臼町の基幹産業は漁業です。基幹産業が振わなければ関連する産業も規模が縮小し、働き口が減り、職を求め人口が流出します。地域内では高齢化と少子化が進み、結果、地域内で『お金』が回らず、

さらに様々な職種において休業や廃業が発生することが予想されま

す。企業誘致や創業など地域の活性化策は様々な方法がありますが『観光振興による交流人口の増加』も地域活性化策として効果的と言われています。幸い羅臼町には多くの観光客が来ていますので、その方達に食事や体験、買い物、宿泊などを通してお金を地域に落としもらおうのです。また、情報発信や口コミなどで新たな観光客を増やし、さらに消費をしよう。これが交流人口を増やす目的です。しかし、交流人口を増やすためには、観光閑散期の資源開発や宿の規模の問題もあり、簡単ではありません。そこで、近年は『関係人口』の増加が注目されています。関係人口とは、その町に興味を持ってもらう人や応援してくれる人などを増やすことです。「楽しそうな町だな」「行ってみたい」「食べ物美味しそう」など興味を持たせることが重要となってきます。関係人口が増えれば、ふるさと納税の寄付や通信販売、小売店などで産品を購入してもらったり、知友人に宣伝したりなど、羅臼町にとって良い効果が自然発生的に生まれます。羅臼町外でも羅臼町の産品や情報が消費・拡散されることは、結果的に羅臼町にお金が回ることにになり、さらには羅臼町に移住したいと思う人が出てくる可能性も出てきます。これま

でも昆布や魚など原材料の流通により関係人口を増やしてきましたが、近年は観光面でも積極的に取り組まれています。

外国人と町内消費

総務省では、定住人口が1人減少すると年間125万円の消費が減少するという調査結果を出しています。例えば平成20年3月現在の羅臼町の人口は6,202人でした。平成30年3月現在は5,076人で、1,126人減少しています。単純に125万円をかける約14億円が平成20年当時に比べ地域内で消費されていないこととなります。

観光庁の調査では、人口1人の減少（125万円減少）を補填するには、日帰りの国内旅行者では、80人、宿泊の国内旅行者は25人、訪日客では8人の消費に相当するとの調査結果を出しています。『訪日客8人』意外と何とかなりそうなる人数ではないでしょうか。羅臼町においても、観光における訪日客の受け入れは、地域経済を支える有効な手段として、成り得る時代に突入したと言えます。

受入体制の整備

近年は、観光事業者による営業や関係団体の協力、各種SNSなどの普及活用により訪日客が増加していますが、残念ながら受け入

れ体制が十分であるとは言えません。有りそうで無い外国語表記看板、問い合わせや相談、苦情に多言語で対応できる体制、クレジットカードやスマートフォンなどのアプリを使った料金決済システムなど、最低限の整備が実はまだまだ足りていません。パンフレットひとつとっても、今までは、英語表記のみで良かったものが中国語（簡体字、繁体字）や韓国語など来日者数が多い国の表記が必要になるなど状況も変化してきています。（図5）



図5 (一社)知床羅臼町観光協会の多言語化パンフレット

みんなが来る！

知床世界自然遺産は、未来へ残す価値があるとして世界の人々が認めた自然遺産です。それらを体感するために、これからも多くの訪日客が羅臼町を訪れることでしょう。訪日客が帰国すると、自

然の素晴らしさとともにその地域を守り、創り続けてきた人々の温かさなどの『質』も情報として伝えられます。見知らぬ地で「よく来たね」「どこから来たの」なんて声をかけられ、気持ちが温かくなった経験はありませんか？訪日客も同じです。そのような声掛けひとつでも大変喜ばれ、来て良かったなと感じてくれるはず。また、外国語を話せなくても身振り手振りで意外と通じたりもしますし、勉強した外国語を試す良い機会にもなります。生きた教材がそばにいる好条件とも言えますので、積極的に話しかけてはいかがでしょうか。

反面、道路上のゴミやトンネル内の空き缶、不法投棄など、片付けなければならぬ問題もあります。私達が観光地に行き、同じ光景を見た場合、どのような思いになるでしょうか。地域経済を活性化させるためには、このように身近な問題も地域一丸となって解決しなければなりません。

2020年の東京オリンピック、パラリンピックでは、さらに多くの外国人が日本を訪れます。足を延ばして羅臼町を訪れた時は、敬遠せず、「よくこんな端っこまで来たね」と羅臼人らしい、おもてなしの心で接していただければと思います。そんな彼らは羅臼町で多くの体験をし、多くのお金を消費し、気持ちよく帰り、次の旅人を送り出してくれるはず。

「ふまねっと」でつながる いきがいと仲間づくり



「ふまねっととおしゃべりの広場」の様子。
とても楽しそうな雰囲気が伝わってきますね。

「いやあ、元気だったかい？」。今日も会場には笑顔と笑い声が響いています。毎月1回、第4金曜日に大地みらい信用金庫羅臼支店2階を会場に「ふまねっととおしゃべりの広場」が開催されるようになり、1年になります。この広場は、高齢者が中心となり、自分のために、そしてみんなのためにできることをしていこうということで、開催されています。

クリオネの会のはじまり

はじまりは2年前、町で実施したふまねっとサポーター養成講座でした。

はじめは自分の認知症予防のためになればと参加してくれたメンバーでしたが、ふまねっと運動を開発した元釧路教育大学北澤教授の話聞くうちに、「自分達でも他の誰かのためにできることがあるかもしれない。まずは、定期的が集まって練習からはじめよう」とそれが羅臼町のふまねっとサポーターの自主グループ「クリオネの会」のはじまりです。

ふまねっと運動とは

ふまねっと運動とは50センチ四方のマス目でできた大きな網を床に敷き、この網を踏まないようにゆっくりと慎重に歩く運動です。杖歩行や虚弱な方も楽しめるように、マス目を利用したステップがたくさん用意されています。こ

のステップを間違わないように歩くことで、からだの動きに注意を集中させて、全身のバランスや認知機能を向上させる「運動学習」プログラムとして開発されています。



ご自分のペースで運動に励んでいます。

クリオネの会の活動

まずは、月に一回集まり、ふまねっと運動の自主練習から始まった活動です。

初めてのミーティングでは、メンバーから「自分はふまねっとのステップを踏むことで精一杯。他

の人に教えるなんて絶対無理！」なんて声も実際にはあがりません。でも、そこには「一緒に頑張ろう」「初めから無理せずに、できることからやってみよう」と励ましてくれる仲間が側にいます。何度も練習を重ねていくうちに、メンバー全員に少しずつ自信も生まれてきました。

自主練習会を半年間ほど続けたところで、公民館で行っているこまぐさ学級や老人クラブでふまねっと運動を紹介する経験をしたことをきっかけに、自分達でも定



月1回のミーティング。ステップの確認や役割分担を行います。



「いいですよ!!」「ばっちりです!!」ほめられると、思わず笑顔もあふれます。

期的に活動の場をつくりたいとの声から、平成30年1月に月1回のサロン「ふまねっとおしゃべりの広場」を開催することになりました。はじめは緊張の連続だったサロン。人前で話すことは苦手と話していたメンバーも、今では笑顔で来てくれた皆さんに説明や声かけができるようになりました。

これから活動

高齢者が社会福祉の担い手になるという事は、なまやさしいこ

とではありません。幸いなことに、羅臼町には志の高い高齢者の皆さんが頑張つて活動されています。大地みらい信用金庫様のご厚意で毎月会場を貸していただき、「楽しみにしているよ」と話してくれる参加者の皆さんに元気とやる気を頂き、クリオネの会の活動は、今後も続いていきます。

来年は、「もっと活動の場を広げたいね」「別の会場でもふまねっと広場を開催したいね」などとメンバーの意識も高まっています。これからの活動に期待しています!!



羅臼町の活動がふまねっと運動の会報誌で全国的に紹介されました。

●ふまねっと運動、出前します!!●

町内会、老人クラブ、友人どおしの集まり等々…

ふまねっとを敷ける場所さえあれば、いつでも、どこでも伺います!!

もちろん、無料。お気軽にご連絡ください。

◎◎◎ 連絡先 ◎◎◎

羅臼町役場 保健師 飯島 ☎87-2161



クリオネの会の皆さん

子どもと生活習慣病

子どもの健康促進事業

羅臼町では以前から肥満や高血圧、脂質異常などの生活習慣病の問題がありました。子どもにも同じ状態が起きているのではないかと考え、平成26年度から子どもの健康促進事業を始めました。その結果を皆さんにお伝えして、子どもの健康問題を考えてみたいと思います。



事業の内容

羅臼町では小学生から中学生を対象に、身体計測で肥満度が20%以上のお子さんに学校を通して健康促進事業の案内をしています。内容は血液検査で、コレステロールや中性脂肪などの血液中の脂(血中脂質)、肝機能検査、糖の検査などを行っています。検査の結果は保健師からお子さんの保護者やお子さん本人にお伝えしています。検査料は町で負担し、自己負担はありません。平成30年12月末現在で41の方に検査を受けていただきました。

子どもの体にも変化が? 検査の結果

41人の方の結果を見ると一番多かった所見は「中性脂肪」で、41人中17人が基準以上の結果でした。これは食後2~4時間くらいで検査をしており、食事の影響を受けていると思われるのですが、それにしても正常範

囲に戻るまでに時間がかかっているようです。食事そのものに脂肪が多いことや、肥満が原因となって脂肪が体内で消化や吸収を受ける過程(代謝)に変化が起きているのかもしれない。

他には肝臓の機能障害が疑われるような数値の方が7人、動脈硬化を起しやすいと言われるコレステロールの高い方が3人いました。ヘモグロビンエーワンシーという血糖の代謝を推測する項目が高い方も3人いました。全体で21人(51.2%)が正常範囲を超えるデータを示していました。

子どもの健康と栄養 野菜を食べていますか?

お子さんや保護者の方に検査の結果をお伝えする中から「食べ過ぎ」の状況がうかがえました。また、食事の内容も子どもが好むものが中心になりやすい状況もありました。しかし、子どもの成長には欠かせない大事な栄養があります。それらを摂取することはできているでしょうか?

体は細胞できていて、体が大きくなるということは、細胞が増えるということです。また、細胞の入れ替わりが大人に比べて頻繁に起こっています。そういったことがスムーズに起こるためには肉や魚だけの栄養ではなく、ビタミンがたくさん必要になります。食べた栄養がきちんと脳や内臓、筋肉などの細胞になるためには、野菜に含まれるビタミンやミネラルが必要です。嫌いなものでも少しずつ食べられるように、食卓に野菜のおかずを用意しましょう。



精密検査は受けていますか？

～健診の受けっぱなしは困ります。



健診を受けると検査のデータから、精密検査の対象になる方がいます。これは病気が疑われる検査の数値で、羅臼町でも毎年の健診で受診者の2/3ほどが精密検査を勧められていることから、「異常なし」と判定される方がとても少ない…ということなのですが、なかなか精密検査を受けていただけない現状があります。対象になった方の3割程度しか受診していただけていません。健診で精密検査の対象になったからといって必ずしも病気の診断がつくわけでもありません。しかし、健診では病気の予防（発症予防）と、病気がひどくならないようにする（重症化予防）ことの2つの大きな目標があり、精密検査を受けていただかないと、どちらの目標も達成することができません。病気の発症や重症化は、個人の不利益になることはもちろんですが、地域全体で見ても、医療費だけでなく、医療費以外の社会保障費もかかることとなります。さらに受診にかかる時間的、経済的な損失、働き手を失えば社会的な損失も大きいのです。生活習慣病はご本人の自覚症状がほとんどないままに進行するケースが多いため、健診を受けることは自分の身体を知る絶好の機会になります。

また、健診データから、自分がどれくらい病気を起こしやすいか「発症リスク」を把握することができます。今すぐにではなくても、データが悪いまま放置しておくことが致命的な病気の発症にも繋がります。町や職場の健診など様々な場面で精密検査の対象になった方には、是非医療機関の受診をお願いします。

羅臼町役場 保健福祉課 TEL 87-2161

子育て情報ひろば～すくすく～

ありんこは毎月月～金
9:30～11:30まで
火・水は午後も開放！

★毎日開放★
★全日無料★

0～3歳の未就園児さんがお父さんやお母さんと一緒に来て遊んでいます。通っているとお友達との関わりが見られます。催し物に参加することで場所にあった行動を知ります。みる・きく・まねるなど興味や感情が広がります。たくさんの方からあたたかなまなざしを受けます。いいことがいっぱいあります。クリスマス会には36組の親子が参加してくれました。社会福祉協議会よりサントさんからのプレゼントがありました。地域の皆様から受けるご厚情に深く感謝致します。このご恩は、故郷愛として深く子ども達の心の中に根付いていくことだと思います。ありがとうございます。



♪2月・3月のありんこ情報♪

☆ありんこ広場(0歳～3歳対象) ☆すくすく広場(1歳未満対象・妊婦さんの見学可) ☆のびのび広場(2歳～3歳対象)

2月1日(金) すくすく広場	2月4日(月) ママの日	2月6日(水) 春松幼稚園訪問
2月13日(水) 羅臼幼稚園訪問	2月14日(木) おはなし会	2月15日(金) かもめ号読み聞かせ
2月20日(水) ありんこ広場	2月22日(金) のびのび広場	2月27日(水) ありんこ広場
3月1日(金) すくすく広場	3月4日(月) ママの日	3月6日(水) お別れ会
3月8日(金) のびのび広場	3月11日(月) 計測	3月13日(水) ありんこ広場
3月15日(金) かもめ号読み聞かせ	3月20日(水) ありんこ広場	3月27日(水) ありんこ広場

* 毎週火曜・水曜日の13時～16時30分まで一時預かりを行っています。事前にお申込み下さい。

* お問い合わせ先：羅臼町子育て支援センター『ありんこ』TEL88-1515

どの本読もうかな？

インターネットから、

公民館図書室の蔵書が調べられます。

3月スタート！

個人のスマートフォンやタブレット、パソコンなどを使い公民館図書室の蔵書が検索できるようになります。今後何ができるようになり、どのように変わるのか…イメージをお知らせします。



「知りたい」「読みたい」「学びたい」をサポートできる図書室に

「知りたい」「読みたい」「学びたい」を

3月から本格稼働を予定しています。始めのうちはご迷惑をおかけすることがあるかもしれませんが、修正や工夫をしながら運用していきますのでご了承ください。

また来たくなる図書室に

インターネット上で、いつでもどこでも誰でもが手軽に公民館にある本を調べることができます。みなさまの新たな本の出会いが広がるようお手伝いをしていきます。

スピードリーなサービス

出版情報や行事、開館状況などもタイムリーに見て、予約もできます。

公民館図書室に所蔵していない本は、カーリル検索で他館の所蔵を調べることができます。取り寄せたいときはご相談ください。

からから検索

書名・著者名、キーワードなどを入力してください。探している本の関連本が一覧表示されます。

図書室が薦めするブックリストなども表紙写真や紹介文をつけて随時公開します。

★メニュー★

- お知らせ
- 新着図書
- ブックリスト
- 開館日カレンダー
- 雑誌
- イベント一覧

みんなに役立つ図書室に

利便性を高め、子育てや地域の課題解決、生涯学習に役立てていただく事を目的としています。この検索システムは、吉岡マネジメントグループのご寄付が使われています。

例えば…「こんな夜更けにバナナかよ」渡辺一史著を読みたいとき

その①



A 「今、上映中の映画の原作、読みたいなあ…」



本を探す

その②

B 「図書室にあるかもしれないよ」



その③

A 「そだねー、書名を入力して検索してみようっと」

スマホで検索…

「図書室にあった！今、誰も借りていないみたい。自分で探せるなんて便利だね」



その④

B 「借りられてなかったなんてラッキーだね。予約したら置き置きしておいてくれるよ」



連絡が来る

その数日後…図書室から連絡をもらい、ぼくは、読みたかった本を借りることができた。そして、渡辺一史さんの生きざまに感動し、ぼくの中に新たな世界が広がった。



予約する

元ビリギャル 小林さやかさんのおすすめ本 ワクワクすることを自分で見つけよう!

小林さんは累計120万部のベストセラー本「学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶応大学に合格した話」と映画「ビリギャル」の主人公となった方です。

新成人へ伝えたいことを威勢良く熱い言葉で語って下さいました。

冒頭から「ビリギャルは受験の話じゃない。家族の愛の物語なんだよ。だから人生のヒント、子育ての話だと思って聞いて。」というつかみがあり「やってみなきゃわかんないっしょ! ビリギャル流不可能を可能に変える5つのルール」を教えてくださいました。

講演の中で「進学や留学ができない環境の人は本を読めばいい。本は人と出会うことと一緒に。人の人生を知る、知らなかった世界を広げられる。」というお話がありました。

後日イチオシ本をお聞きしたところ5冊を上げてくださいました。



「窓ぎわのトットちゃん」
黒柳徹子 著



「14歳からの哲学」
池田晶子 著



「魔法のコンパス」
西野亮廣 著



「本日は、お日柄もよく」
原田マハ 著

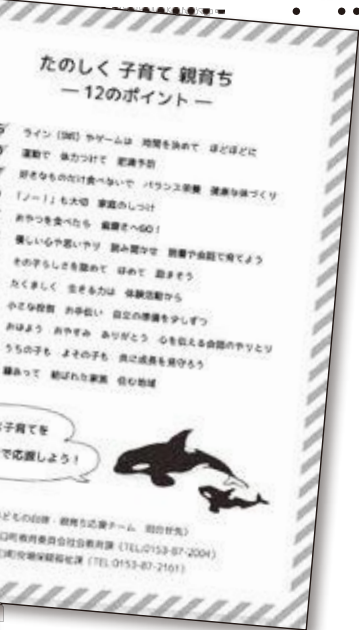


「ぼくは勉強ができない」
山田詠美 著



「親子の結び目」を家庭・学校・地域三者が
包む意味をこめて三角おむすびになりました。

子どもの自律・親育ち応援チーム



この町で豊かな子育てができるよう家庭・学校・地域が繋がりを深めて取り組んでいくための12の提案を標語にし、イラストレーター後藤真希子さんデザインでクリアファイル(A4サイズ)を作成しました。1月中に町内の対象家庭に配布します。標語ひとつひとつの事を共に考え、共に取り組んでいきましょう。

親育ち応援を「標語」で発信
クリアファイルができました!

専門外来のお知らせ

～みんなで育む・みんなの診療所～

知床らうす国民健康保険診療所では、月に数回の専門外来を開設しております。(予約制)
電話予約は午前8時～午後5時までとなっております。

診療科	診療週	曜日	診察時間	備 考
脳神経外科	第1週	月	午前8時30分～午後4時	孝仁会 大野記念病院 医長の診療です
	第3週	月	午後2時～午後4時	孝仁会 齋藤孝次理事長の診療です
循環器内科	第1週	金	午前8時30分～午後3時	孝仁会記念病院 副院長の診療です
皮膚科	第2・4週	水	午前10時～午後3時30分	孝仁会記念病院 形成外科部長の診療です
婦人科	不定期		午前10時30分～午後4時	生理不順・更年期障害等をご相談ください
整形外科	第2・4週	金	午前10時30分～午後4時	北新病院所属医師の診療です。 月2回外来があります。

※診療週の変更があることをご了承ください。

今回は皮膚科外来の紹介をします



～田嶋先生から一言～

今後ともよろしくお祈いします。
お困りのことがあったら、受診に
来てくださいね。

孝仁会記念病院 形成外科部長 田嶋敏彦先生です。
らうす診療所には、皮膚科外来として診療しています。
「形成外科って聞いたことはあるけど…」という方が
いると思います。

日本形成外科学会によると、形成外科とは、身体に
生じた組織の異常や変形、欠損、あるいは整容的な不
満足に対して、機能のみならず形態的にもより正常に、
より美しくする外科系の専門領域とされています。

らうす診療所では、一般的な皮膚科外来で行ってい
る いぼ取りや水虫やニキビの治療だけではなく、や
けど、あざ、皮膚の潰瘍、ケガや手術後の皮膚の癒痕、
ほくろ取り、眼瞼下垂（ボトックス治療）、シミ・そ
ばかす等の治療も可能です。一度受診して相談してみ
てはいかがでしょうか。

～予約・お問合わせ～ 知床らうす国保診療所 TEL87-2116



あしたへつながる防災知識

第14弾

新年あけましておめでとうございます。

平成27年と平成28年にはそれぞれ、町内において大雪災害、土砂災害と大きな災害がありましたが、ここ1、2年は特段大きな自然災害も無く、平穏が続いておりますが、2018年を表す漢字として“災”が選ばれたことから、全国に目を向ければ、西日本豪雨や胆振東部地震等災害の年であったと思います。

羅臼町で昨年の災害を上げると9月に起きた胆振東部地震による大規模停電「ブラックアウト」が記憶にあるかと思います。過去羅臼町でも長期間の停電は経験したことがありますが、部分的なものであったり、羅臼町のみと言う事で、災害時は町外に災害応援をお願いするところがありますが、今回のような停電では応援要請する先も被災地と言うことで、大変な思いをいたしました。人的な被害が無かった事が幸いであったと思います。

また、今シーズンは降雪が大変遅かったですが、年末にまとまった雪が降り、それぞれ気象警報級となりましたが、こちらも軽微な被害のみで、特に大きな混乱はありませんでした。

毎年、1月～3月にかけて暴風雪による雪害が起っています。

悪天候時「自分は大丈夫だ」と無理な外出をしないよう、日頃から情報収集を心掛け、悪天候時の不要不急な外出はしないよう心懸けましょう。

特に、気象台や報道から「数年に一度の猛吹雪」「外出は控えてください」などの普段使われないようなキーワードが発表された際には、厳重に警戒しましょう。

気象庁

<http://www.jma.go.jp/>

警報・注意報
気象情報
天気予報
気象レーダー



北海道地区道路情報

<http://info-road.hdb.hkd.mlit.go.jp/>

国道通行止情報
道内主要峠画像



北の道ナビ

<http://northern-road.jp/navi/>

道路情報総合案内
吹雪の視界情報



北海道防災情報

<http://www.bousai-hokkaido.jp/>

防災情報
避難情報
防災携帯メール配信



羅臼町防災メール(登録制)の登録方法

※メール受信1回あたり、1円～2円程度のメールの受信料が発生します。

QRコードが読み取れない方は下記のアドレス宛に空メールを送信して下さい。
登録確認のメールを送信しますので、URLをクリックし、登録を完了させて下さい。
※QRコードを読み取ると、下記のアドレスが表示されます。

防災情報メール



- 気象情報
- 地震・津波情報
- 避難情報
- 国民保護情報
- 町内の道路情報

メール送信先

bousai.rausu-town@raidan.ktaiwork.jp

町内情報メール



- ヒグマの出没情報
- ごみ収集の中止
- 阿寒バスの運休

※随時追加予定

メール送信先

chounai.rausu-town@raidan.ktaiwork.jp

※rausu-town@raidan.ktaiwork.jpからのメールを受信許可するように設定してください。



Discover Rausu

～地域おこし協力隊として 羅臼の魅力为全国へ～

あけましておめでとうございます
今年もよろしく申し上げます



ドキドキおどろき 羅臼での初体験

今回は羅臼へ来てから『初めて体験』したことを紹介します。

①初めての雪かき

出身地である『静岡』は、とても温暖な気候であるため雪が降った記憶は30年でわずか3回ほどです。小学2年生の頃、雪が少し積もったときには、授業がなくなり全員で雪遊びをした記憶があります。それだけ雪とは縁がありませんでした。羅臼へ来て初めて雪かきグッズを購入し、初めて雪かきをしました。でも、いざやってみると、思うようにはいかず見よう見まねで雪かきをしています。少しずつ雪かきを覚えていこうと思います。

ただ羅臼で生活をしていると、ブル（ホイールローダー）の普及率の高さに驚かされます。漁業者がそれだけ多く活躍していることもブルの数からよくわかります。除雪して下さっている方々のおかげで生活しやすい環境が整っているので、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

②初めてのホワイトアウト

「前が見えない…」恐るべきホワイトアウト。朝歩いて通勤するだけでも前が見えず、羅臼の人はどうやって対応するのだろうか…サングラス?と思いましたが、人によってはゴーグルをする人もいます。でも羅臼の人に「すごかったですね。」と声をかけると、「羅臼楽しいでしょ?年に何度もあるから。」と笑顔で答えられる方ばかりでした。羅臼での生活が自然との共存の上で成り立ち、そこに住む人々もそれだけ厳しい環境で鍛えられているのだと痛感しました。ますます羅臼の人々の魅力に気づかされました。

③初めての写真展入賞

知床羅臼町観光協会主催の写真コンテストが行われ、日ごろから撮りためている写真を『地元の人々にも見てもらいたい』という思いで応募しました。するとスナップ部門の部門賞を受賞することになりました。羅臼には、プロカメラマンを始め、多くのアマチュアカメラマンが訪れているので、まさか自分の写真が選ばれると思いませんでした。羅臼で生活できていることに感謝の気持ちをもちながら、羅臼で生きる人々、野生動物、自然などの写真を引き続き撮影していきたいと思います。今年は、羅臼の基幹産業である漁業の様子をもっと収められたらと思います。ご協力よろしく申し上げます。



部門賞受賞作品『我が町伝統の千人踊り』





城下町のわだい

みんなだまちづくり

町では協働のまちづくりを推進しています。
ここでは、町民や団体が自らの意思で「協働のまちづくり」を実践している
方々を中心に取り上げ掲載して行きたいと考えています。
みなさんも「協働のまちづくり」にご参加下さい！

11月24日(日)

3年目の挑戦 札幌の街に羅臼ファン集う

羅臼町応援者、羅臼ファンを増やす活動の一環として取り組んできた「俺たちのふるさとRAUS Uナイト」が3年目を迎え、参加者27名が札幌の街に集い、開催されました。
3年目となる今回は、過去参加者はもちろん、羅臼町公式SNSを通じて参加申込みをしてくれた方など、初めての参加者も多く、知床羅臼町の魅力を伝える時間に加え、地元高校生の取り組みや地域活動についても知ってもらおう時間を共有しました。



料理を口にした後は、地元でおなじみの「ほおびき」を参加者全員で実施し、賑やかな空間となりました。
離れていても羅臼町を応援する力タチとして「札幌らうす会」への入会希望も多数あり、食がっつなぐヒト・モノ・コトの交流は終了しました。

12月2日(日)

羅臼のふつつは、 日本のごちそう

知床らうすブランド認定品展示販売会を開催し、羅臼町の産品の中で自信をもつて広くPRできると知床らうすブランド運営委員会(町・漁協・商工会・観光協会・水産加工振興協会)が認めたものです。現在57品が認証を受けています。

昨年度に引き続き、役場ロビーで知床らうすブランド認定品を中心とした展示販売会を開催しました。当日は多くの方々に越しいただき売り上げも好調でした。



12月8日(土)

羅臼町ユネスコスクール研究発表会

当町では、すべての幼小中高校が持続可能な開発のための教育(ESD)を推進するユネスコスクールに登録しており、ふるさとキャリア教育(将来、社会人・職業人として自立していくために必要な意欲・能力を身につけるために行われる教育活動)に取組んでいます。
今年、第8回目となった発表会は、羅臼小学校「羅臼昆布図鑑第1版をつくらう」、春松小学校「羅臼の魅力再発見」「上級学校訪問」、知床未来中学校「北方領土訪問報告」「職業体験学習」「羅臼町PR」、高校は、「生徒会活動の取組み」「昆布の生育環境調査」「創作料理プロジェクトの取組み」が、それぞれ発表されました。また、各幼稚園からは自然を題材にした作品の展示が行われました。
現在、幼小中高まで一貫した系統的・組織的なキャリア教育を実践し、一人ひとりの自己実現に向けた主体的な学習及び社会参加と自立を目指した教育が行われています。

なお、羅臼小学校と羅臼高等学校の発表は、来年2月9日東京大学安田講堂で開催される「海洋教育サミット」で同様の発表が行われる予定となっています。



昆布と川の関係について発表した羅小5年の様子



観光客に羅臼の良さを伝えたい！春小4年発表の様子

12月11日(火)



世界自然遺産知床から羅臼昆布をプレゼント

今年で6回目を数える羅臼漁業協同組合・(株)バスクリン共同企画「世界自然遺産知床羅臼から高級らうす昆布プレゼント」抽選会が実施されました。

当抽選会は、羅臼昆布の価値や魅力をPRするため2013年から開始され、これまで様々な形で取り組んできた宣伝効果により今年は全国各地から4,493通の応募があり、その中から350本を抽選。寄せられたハガキの中には、昆布漁師を描くものや労いのメッセージが添えられたものまで見応えのあるものでした。

今後も、羅臼昆布の消費拡大に期待し、生産地の一員として最高級と呼ばれる「羅臼昆布」の価値や魅力を伝えていければと思います。



12月12日(水)



感謝を胸に

10月6日に開始された「第22回根室管内中学生ソフトテニス大会」において、知床未来中学校ソフトテニス部が個人戦シングルス優勝・準優勝、団体戦優勝、個人戦ダブルス優勝・準優勝と優秀な成績を収め、それぞれの種目で全道大会出場となりました。

大会開催前には町長へ表敬訪問し、主将の高橋さんより「先生やコーチ、多くの方々に感謝し、ひとつでも多く勝てるように頑張ってきました。」と抱負が述べられました。町長からは「今年から開校となった知床未来中学校の名を背負って、ひとつでも多く勝利を収めてほしい。」と選手へ激励の言葉が贈られました。

大会結果については、12月27日(砂川市)のシングルス戦は、高橋選手が2回戦敗退、松山選手が1回戦敗退。12月28日(滝川市)の団体戦は1回戦敗退。1月10日(札幌市)のダブルス戦は、高橋・野ペア、中村・松山ペア共に1回戦敗退となりましたが、今大会の経験を活かし、今後益々のご活躍を期待しています。



12月22日(土)



冬を彩るイルミネーション

今年も道の駅広場にイルミネーション実行委員会皆さんによりツリーが設置され、クリスマスのお訪れを知らせてくれました。

町内の子ども達に向けた「サンタさんからのプレゼント」企画もこの時期恒例の楽しみとなっており、当日はたくさんの子ども達が集い、プレゼント配布やお楽しみ抽選会を賑やかに楽しんでいました。

今年は、ツリーのライトアップに加え、羅臼町のシンボルマークのイルミネーションも設置され、聖なる夜を輝かせていました。



TAXコラム

(税務財政課通信)

情
報
ひろば

RAISU TOWN

INFORMATION

【町税の納税は、お済みですか？】

昨年の12月25日で町税（町・道民税・固定資産税）第4期及び国保税第7期の納期が過ぎました。まだ、納税していない方は、早急に納税されるようお知らせいたします。

また、1月31日は国保税第8期分、2月28日は国保税第9期分の納期限となっておりますので、期限内に納税するよう併せてお知らせいたします。

なお、納期限を過ぎて納税した場合、遅れた日数に応じて延滞金が増加される場合がありますのでご注意ください。

町では、「公平・公明・公正」の観点から納税にも応じず、また納税誓約も履行しない滞納者に対しては、差押えなどの法的措置を執行し、収入確保に努めておりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

【償却資産申告書の提出は忘れずに！】

昨年末、償却資産をお持ちの方や法人に通知いたしました「償却資産申告書」（黄色の用紙）の提出期限は、**平成31年1月31日(木)**となっております。まだ提出されていない方は、必要事項を記載のうえ、期限までに提出していただきますようお願いいたします。

なお、平成27年度より「個人番号又は法人番号（マイナンバー）」の記載欄が新設されていますので、忘れずに記載していただきますようお願いいたします。

詳しくは、償却資産申告書に同封の「償却資産申告書の書き方」をご覧ください。下記のお問合せ先へご連絡ください。

【1・2月の休日・夜間窓口】

〈休日窓口〉 1月27日(日)、2月24日(日) 午前9時～午後5時まで

〈夜間窓口〉 1月31日(木)、2月28日(木) 午後5時半～午後7時まで

〈お問合せ先〉 羅臼町役場 税務財政課 TEL 87-2113

寄付・寄贈ありがとうございました

知床・羅臼まちづくり基金

【その他、目的達成のために町長が必要と認める事業】

松緑神道大和山

羅臼天水支部 様

【雑巾】

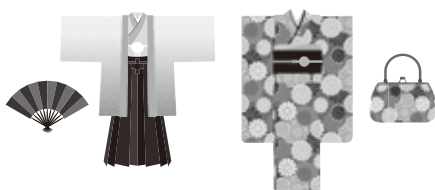
グループサンシャイン

代表 三好 正美 様

20年間継続し、寄付をいただいております。ありがとうございます。

(平成30年11月11日)

平成31年1月10日受付分掲載)



おくやみ申し上げます (敬称略)

赤ちゃん誕生 (敬称略)

羅臼いさり火吟社

12月例会句
平成30年12月

草の葉のささやきならむ初時雨

泥舟

舳先からしぶきを浴びて鱈の漁夫

鹿山

干鱈焼く香りは海の風に似て

悠羅

漁船拿捕あの夜の色丹島の月

羅牛

足跡の凶鑑のごとし雪の朝

英美

俳句同好会「羅臼いさり火吟社」では投句を募集致します。住所・氏名・年齢・電話番号を明記し送付していただくか、左記までお問い合わせ下さい。

〒086-1823 羅臼町栄町
羅臼いさり火吟社 宮腰 實
(電話)0153-87-3758

人の動き

平成30年12月末現在 ()内は平成30年11月末対比

人口	5,055人 (- 8)	男	2,507人 (- 5)
世帯	2,067世帯 (- 3)	女	2,548人 (- 3)

編集後記

新年を迎え平成も残すところ3ヶ月余りとなりました。皆さんにとって30年間歩んだ平成はどのような時代だったでしょうか。各テレビ局では平成を振り返る番組が放送され、それぞれが記憶する出来事について述べられています。その中で「自然災害に見舞われた時代」という声があがり、私も共感した平成の印象がありました。明るい出来事が多くても振り返ったときにどうしても辛い出来事が強く記憶に残ってしまいますが、残り3ヶ月は明るい出来事を探しカウントダウンしたいと思います。

皆さんにとって本年も素晴らしい1年でありますように。今年もどうぞ宜しくお願いいたします。(A)

羅臼町民憲章

(昭和45年9月15日制定公示)

わたくしたちは、雄大な知床連峰と、オホーツクの海原の大自然にはぐくまれた、羅臼の町民です。

- 自然を愛し先人の強い意志をうけつぎます。
- 健康で明るくたのしい家庭をつくります。
- 教養を高め、豊かな情操を育てます。
- 仕事に誇りをもち、はたらく喜びに生きます。
- 子どもたちの夢と、若い力を育てます。